2026年10月11日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
8,618万kW
17時30分、86,175 MW
（10エリア同時刻合計）

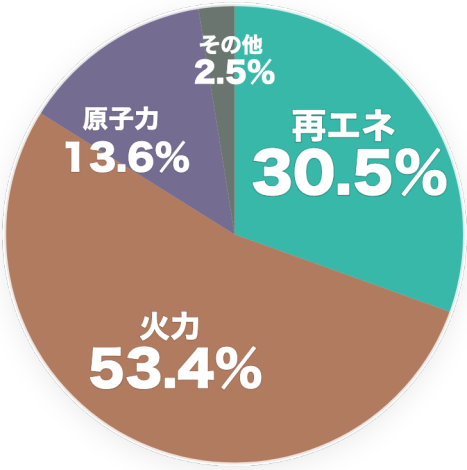
☀ 太陽光ピーク
4,926万kW
11時30分、49,258 MW
（自家消費分除く）

≋ 風力ピーク
49万kW
17時、494 MW

◇ 再エネ最大需要比
69.8%
11時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
東京
80.9 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
63.9 GWh



概況

再エネ比率トップ

中部 40.8%

97.9 GWh

出力抑制量

14.7 GWh

最大: 東北 6.0 GWh

揚水・蓄電の充電

75.6 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク

- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、17:30に2,810万kWでした。
- 再エネ比率は中部が最も高く、発電電力量ベースで40.8%でした。
- 出力抑制は東北、中部、北陸、中国、四国、九州。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	**30.5%**	発電電力量ベース
再エネ発電量	**571 GWh**	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	**1,870 GWh**	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	**69.8%**	11時
出力抑制量	**14.7 GWh**	最大: 東北
揚水・蓄電の充電	**75.6 GWh**	発電構成比には含めない

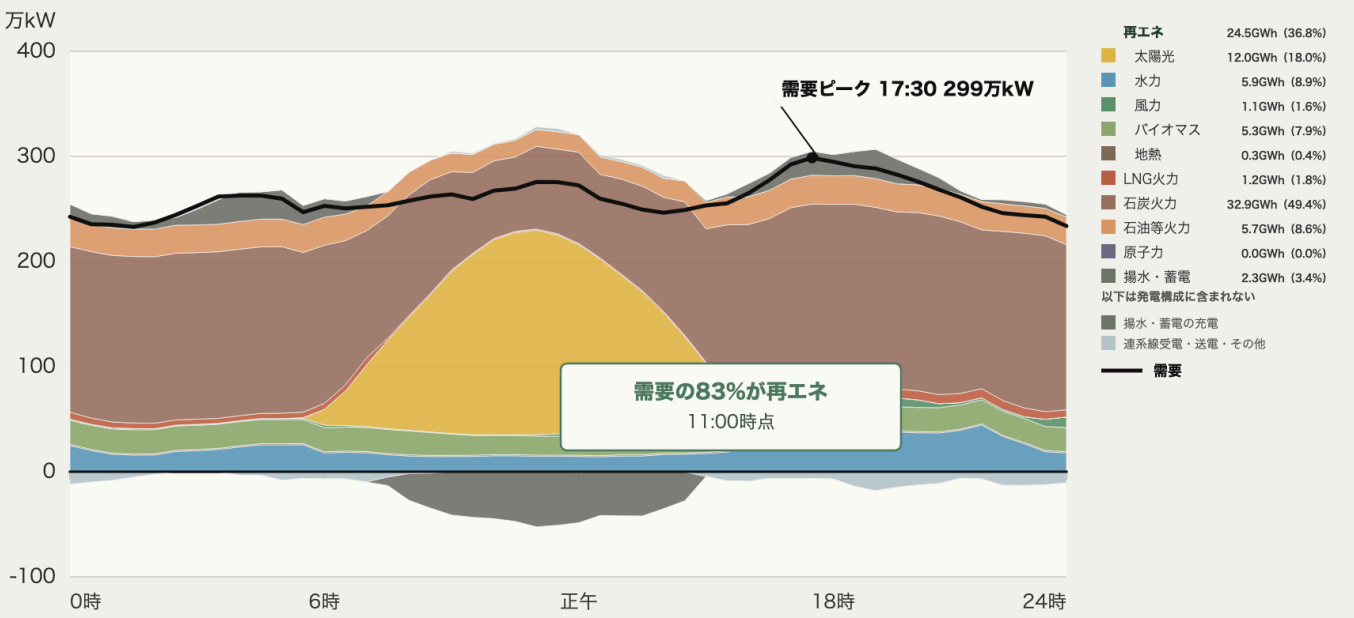
エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	**36.8%**	**24.5**	**0.0**	**送電 1.2**
東北	**37.0%**	**85.6**	**6.0**	**送電 63.9**
東京	**26.5%**	**140**	**0.0**	**受電 80.9**
中部	**40.8%**	**97.9**	**1.7**	**受電 35.5**
北陸	**35.6%**	**21.6**	**0.3**	**送電 7.1**
関西	**25.8%**	**68.1**	**0.0**	**受電 36.8**
中国	**25.0%**	**40.2**	**4.1**	**送電 32.1**
四国	**28.8%**	**24.9**	**1.6**	**送電 32.3**
九州	**31.5%**	**65.2**	**1.0**	**受電 1.2**
沖縄	**9.3%**	**2.3**	**0.0**	—

2026年10月11日の供給実績

北海道エリア

再エネ
24.5GWh
（発電電力量ベース36.8%）

北海道エリア 2026年10月11日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
66.5GWh

需要ピーク
17:30、299万kW

連系線・その他
1.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電
2.9GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

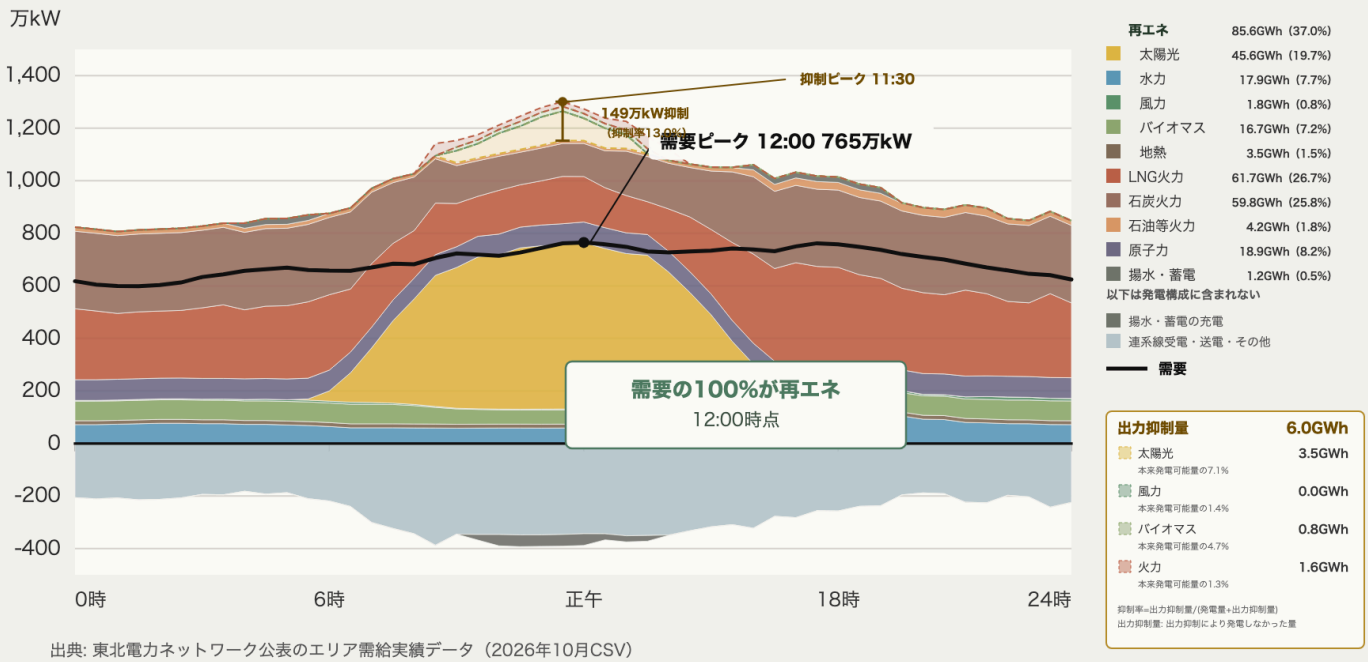
北海道は、太陽光ピーク195万kW、風力ピーク13万kWで、時間別の再エネ最大需要比は84.6%だった。

2026年10月11日の供給実績

東北エリア

再エネ
85.6GWh
（発電電力量ベース37.0%）

東北エリア 2026年10月11日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
231.4GWh

需要ピーク
12:00、765万kW

連系線・その他
63.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.6GWh

出力抑制
6.0GWh

概況

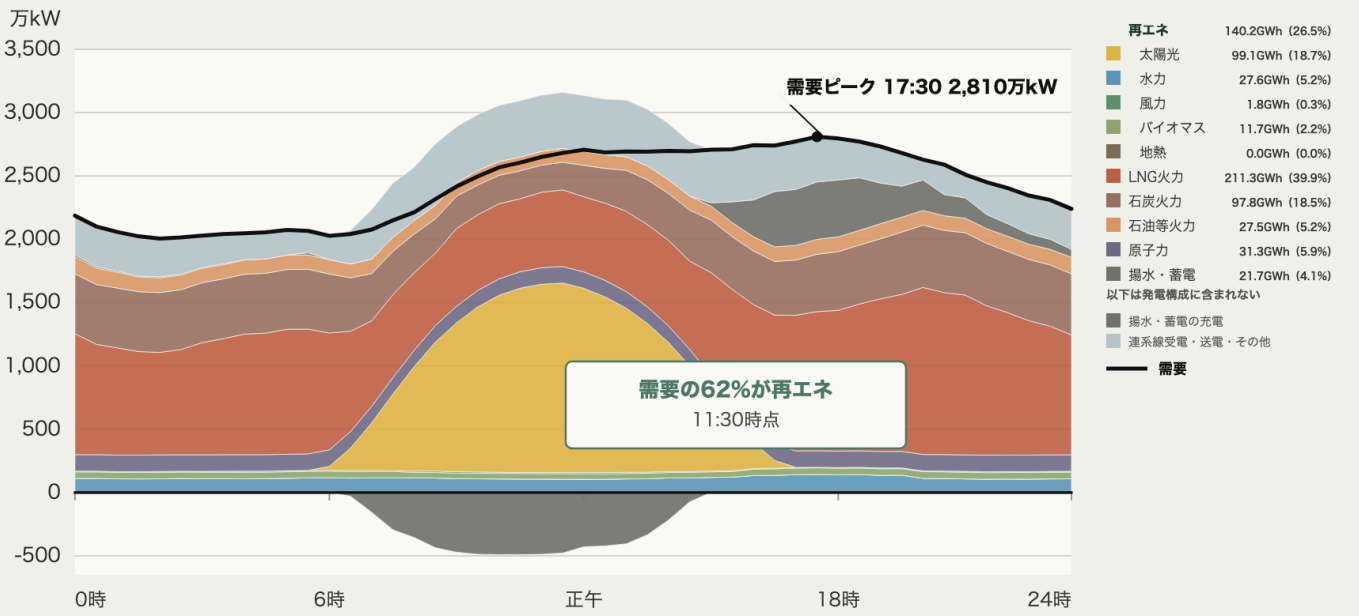
東北は、太陽光ピーク633万kW、風力ピーク19万kWで、時間別の再エネ最大需要比は102.4%だった。

2026年10月11日の供給実績

東京エリア

再エネ
140.2GWh
（発電電力量ベース26.5%）

東京エリア 2026年10月11日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
529.7GWh

需要ピーク
17:30、2,810万kW

連系線・その他
80.9GWhの受電

揚水・蓄電の充電
30.3GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

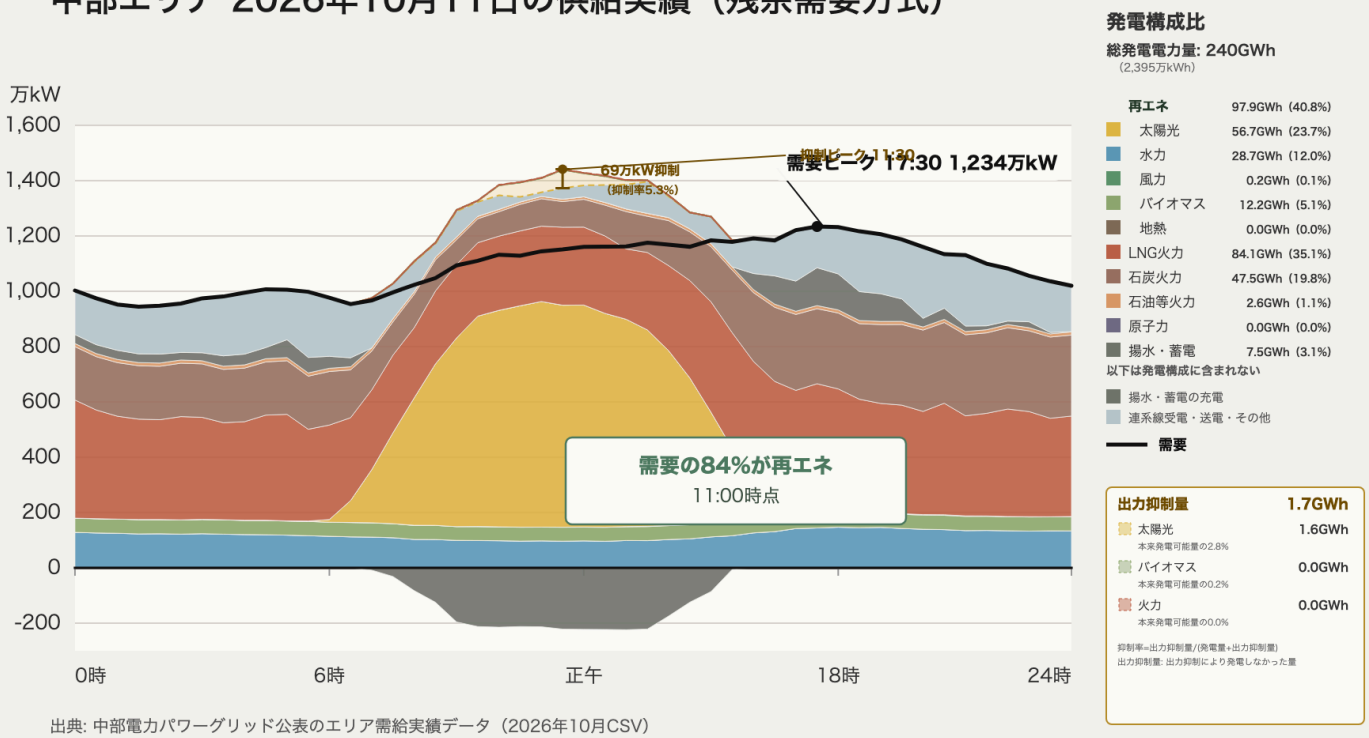
東京は、太陽光ピーク1,497万kW、風力ピーク11万kWで、時間別の再エネ最大需要比は62.1%だった。

2026年10月11日の供給実績

中部エリア

再エネ
97.8GWh
（発電電力量ベース40.8%）

中部エリア 2026年10月11日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
239.5GWh

需要ピーク
17:30、1,234万kW

連系線・その他
35.5GWhの受電

揚水・蓄電の充電
14.0GWh

出力抑制
1.7GWh

概況

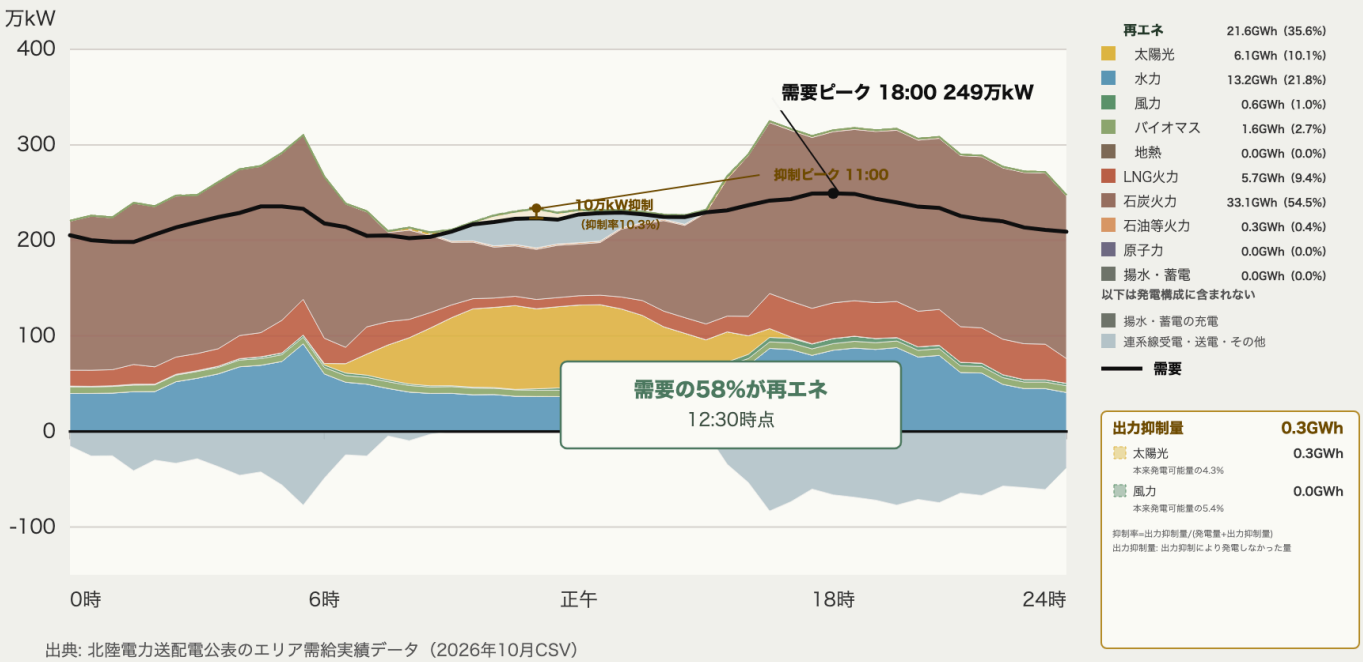
中部は、太陽光ピーク816万kW、風力ピーク3万kWで、時間別の再エネ最大需要比は84.2%だった。

2026年10月11日の供給実績

北陸エリア

再エネ
21.6GWh
（発電電力量ベース35.6%）

北陸エリア 2026年10月11日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
60.6GWh

需要ピーク
18:00、249万kW

連系線・その他
8.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.3GWh

概況

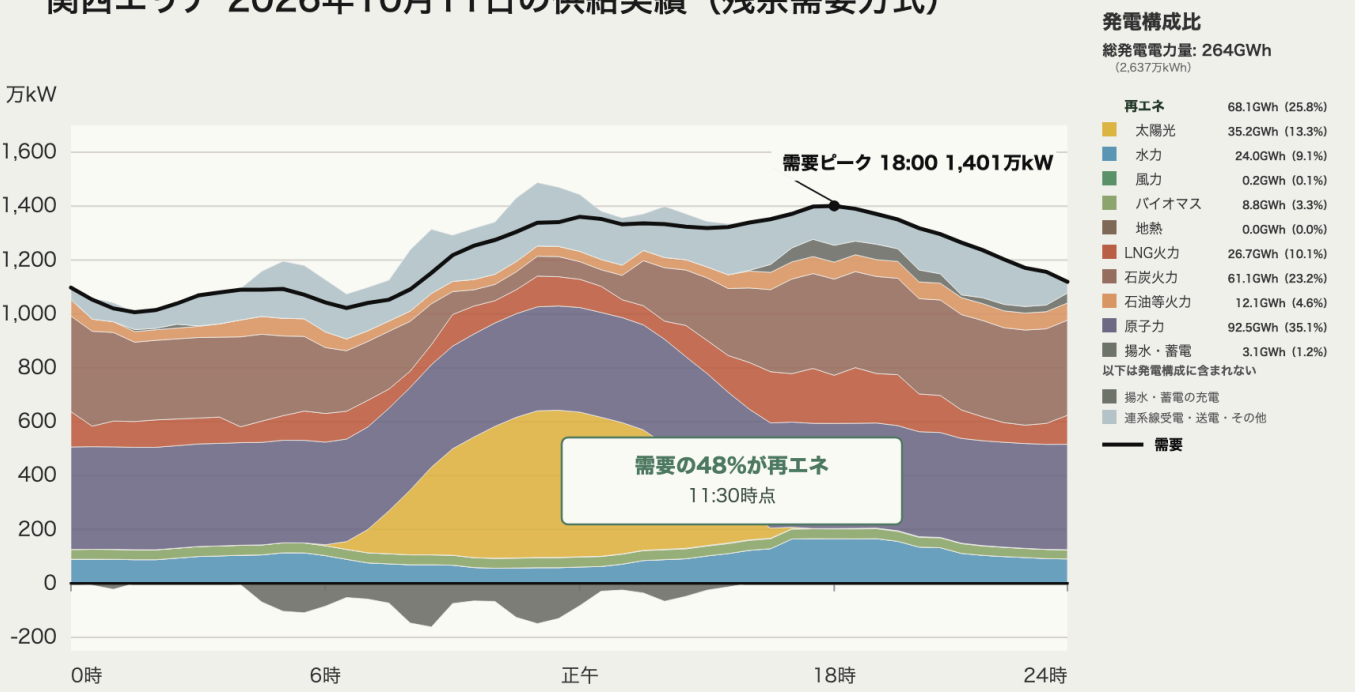
北陸は、太陽光ピーク88万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は59.3%だった。

2026年10月11日の供給実績

関西エリア

再エネ
68.2GWh
（発電電力量ベース25.8%）

関西エリア 2026年10月11日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
263.7GWh

需要ピーク
18:00、1,401万kW

連系線・その他
36.8GWhの受電

揚水・蓄電の充電
9.1GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

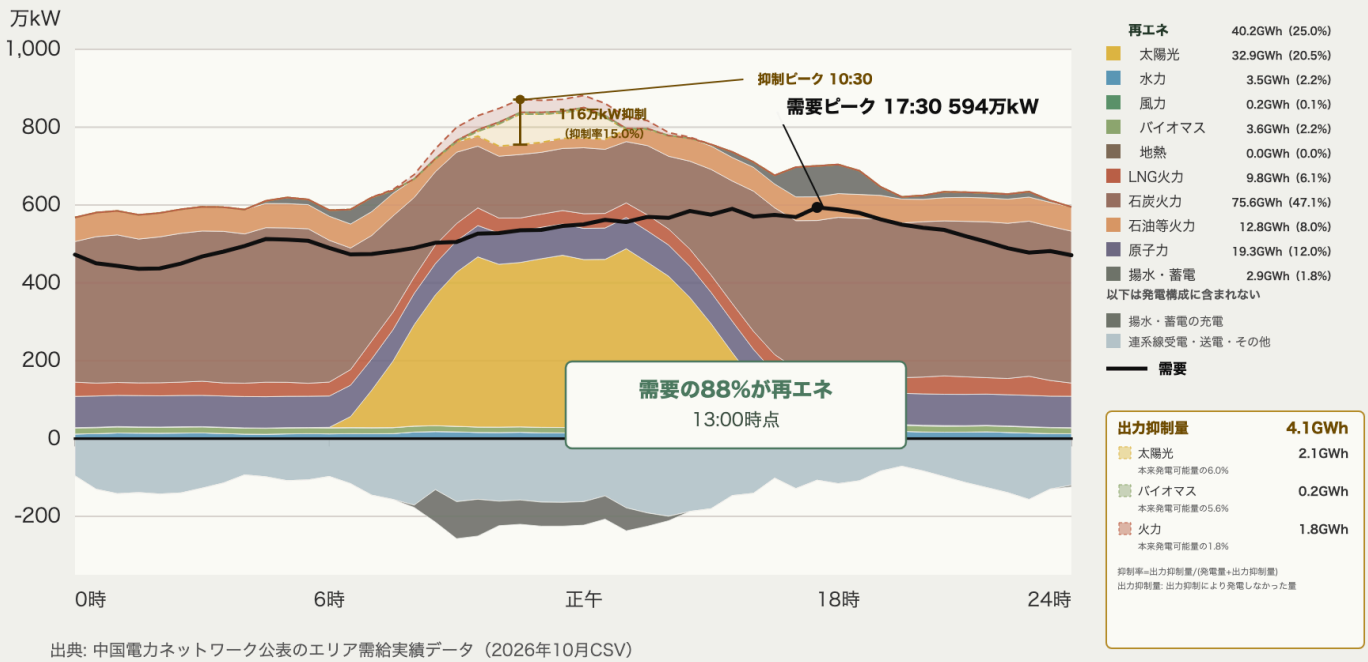
関西は、太陽光ピーク546万kW、風力ピーク2万kWで、時間別の再エネ最大需要比は48.0%だった。

2026年10月11日の供給実績

中国エリア

再エネ
40.2GWh
（発電電力量ベース25.0%）

中国エリア 2026年10月11日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
160.5GWh

需要ピーク
17:30、594万kW

連系線・その他
32.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電
3.8GWh

出力抑制
4.1GWh

概況

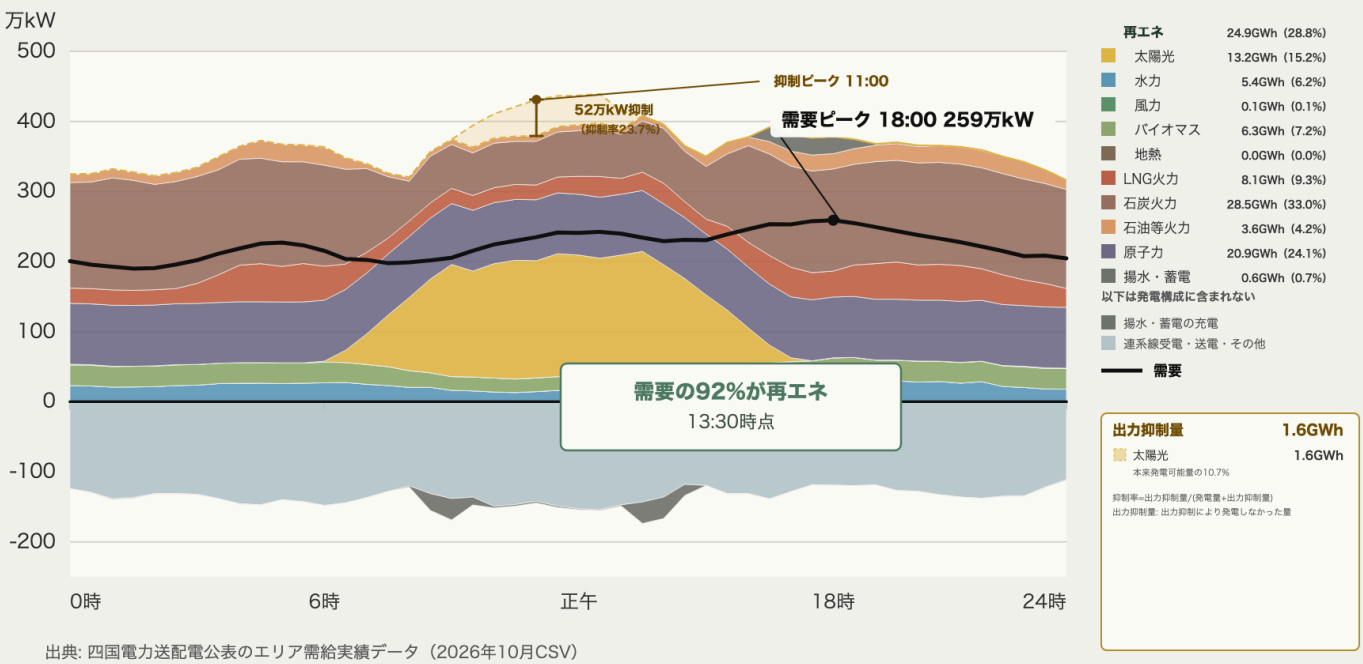
中国は、太陽光ピーク461万kW、風力ピーク2万kWで、時間別の再エネ最大需要比は88.7%だった。

2026年10月11日の供給実績

四国エリア

再エネ
24.9GWh
（発電電力量ベース28.8%）

四国エリア 2026年10月11日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
86.6GWh

需要ピーク
18:00、259万kW

連系線・その他
32.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.8GWh

出力抑制
1.6GWh

概況

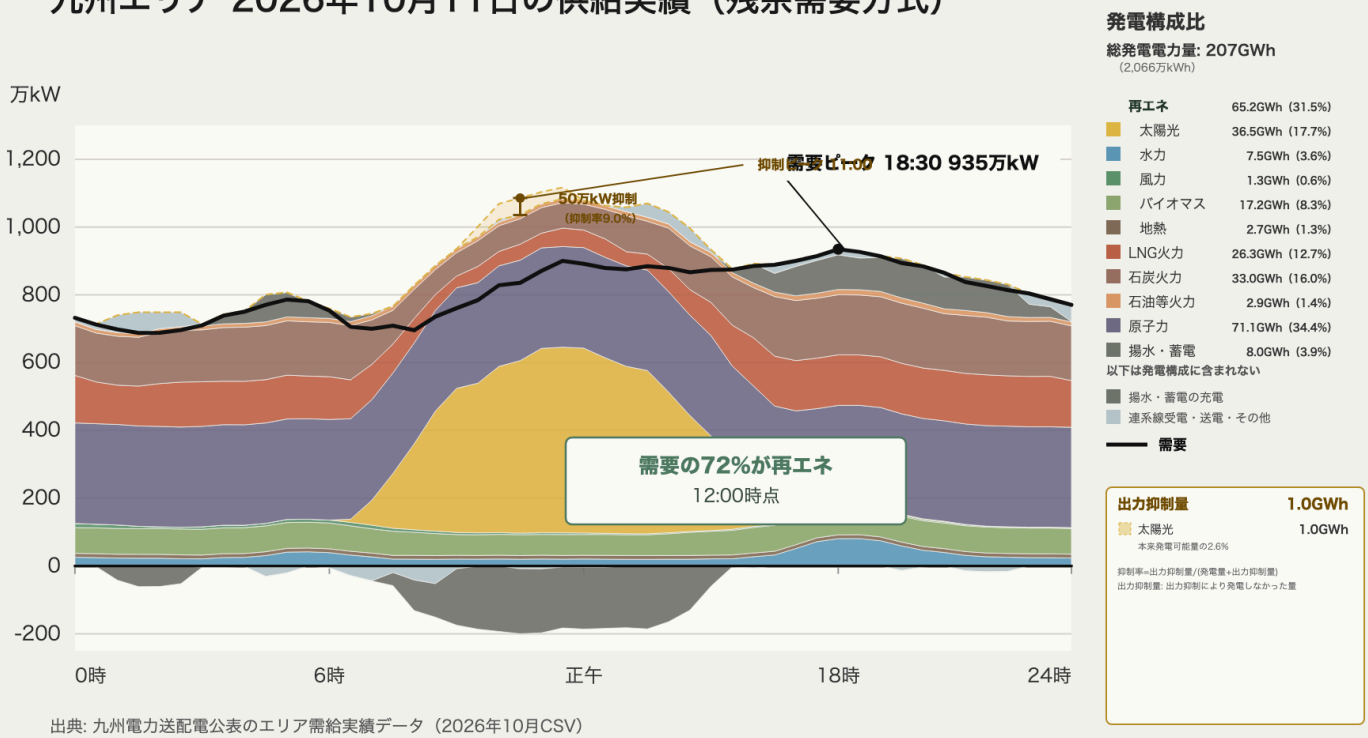
四国は、太陽光ピーク179万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は95.3%だった。

2026年10月11日の供給実績

九州エリア

再エネ
65.2GWh
（発電電力量ベース31.5%）

九州エリア 2026年10月11日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
206.6GWh

需要ピーク
18:30、935万kW

連系線・その他
3.0GWhの受電

揚水・蓄電の充電
13.2GWh

出力抑制
1.0GWh

概況

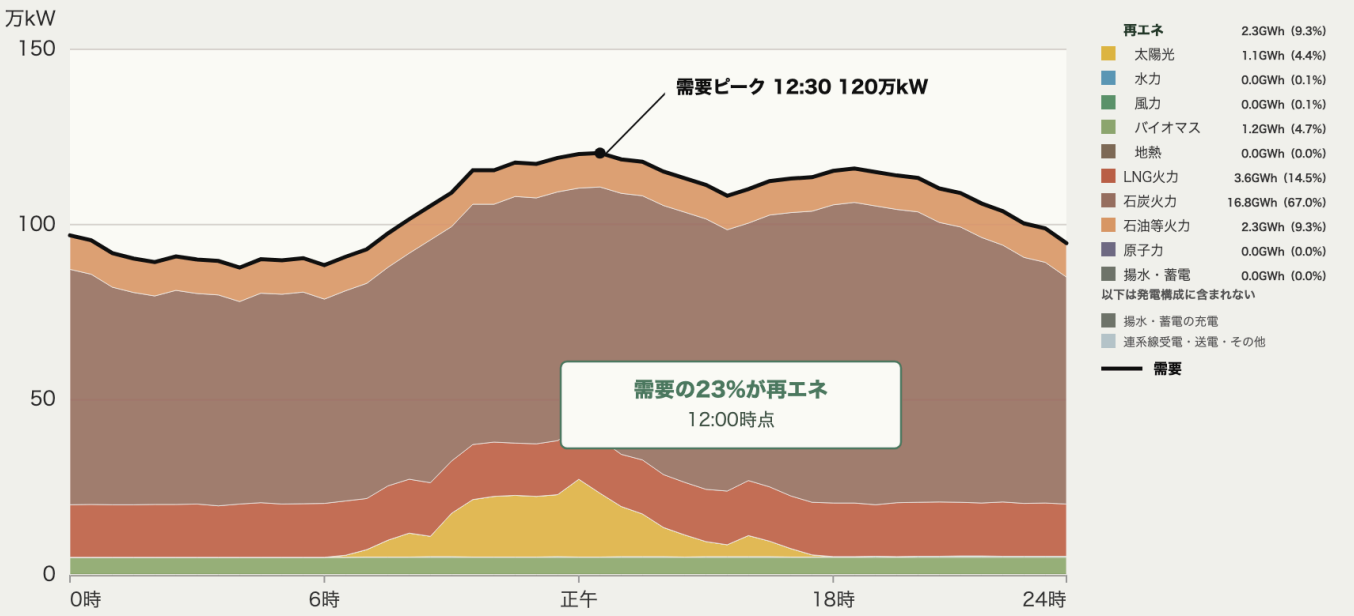
九州は、太陽光ピーク548万kW、風力ピーク12万kWで、時間別の再エネ最大需要比は73.8%だった。

2026年10月11日の供給実績

沖縄エリア

再エネ
2.3GWh
（発電電力量ベース9.3%）

沖縄エリア 2026年10月11日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
25.2GWh

需要ピーク
12:30、120万kW

連系線・その他
0.0GWh

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク22万kW、風力ピーク0万kWで、時間別の再エネ最大需要比は22.7%だった。